

学習のアドバイス 2年生理系の学習法

今後の学習について先生方にアドバイスをいただきました。

現 代 文

現代文において身につけるべき力は「文章を正しく読み取り、思考する力」です。そもそも文章は「人間の思考世界や感情から生れ出たもの」ですね。仲の良い友達や家族の言葉や文章なら理解することは簡単ですが…

「どこかの研究者の専門的な話」「全く共感できない意見を持った人の話」「そもそも興味が持てない分野の話(しかも長い)」「意味不明な感情論、感覚論」…うん、なんだか良くわからないな！ごめんね！…と、出来ることなら早く話を切り上げたいような相手が受験となると…「文章」という形であなたの前にガッツリ現れます。そして、あなたは「その相手とじっくり向き合い、言いたいことを正確に受け取る」ことを要求されるのです。

そこで身につけるべき力は…

①「ことば」を理解する力

「漢字」の意味、読み、書き取りもちろんそうですが(『漢字マスター1800+』に日ごろから取り組み、漢字を自分のものにしよう！)大切なのは「文中で書き手が“どのような意味で”その後を用いているのか」を理解することです。そのためには、いろいろな文章を読んで「ことば」に慣れておく必要があります。

学校で買った問題集『力をつける現代文』には、いろいろなジャンルの文章が載っています。「自分だったら本屋で見かけても絶対手には取らない、買わない」ような本の文章もたくさん載っていますので、「新しいことばと出会う、慣れる」ためにも、どんどん取り組んでいってください。

② 広い知識力

文章は、それを執筆した人の感情や思想に直結しています。しかし、人がそうであるように、文章もいつも素直にあなたと向き合ってくれるとは限りません。あなたは評論家や文豪が執筆した難解な文章と向き合うことになるのです。受験生として、これからそんなときがたくさんやってきます。どうしよう…。そんなときあなたを助けてくれるのは、あなた自身の「知識」です。じゃあ、その知識はどうやって手に入れるのか…それはあなたの身の回りに存在している、新聞や本などです。あなたの身の回りには、たくさんの素晴らしい文章があふれています。こんなに時間が取れるような機会はめったにないですから、いろいろな文章にふれてください！

また、「青空文庫」(<http://www.aozora.gr.jp/>)など、インターネットもどんどん活用していきましょう！便利な学習サイトもあります。上手に活用していってください！(ただし教科書に載っている内容は避けてくださいね)がんばろう！！

- ・NHK for School (<https://www.nhk.or.jp/school/program/>)
- ・NHK高校講座 (<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/>)
- ・一学楽校Navi (<http://ichigaku-rakukou.net/category/kokugo>)

古 典

「現代文」同様「古典」も、その文章の向こうには必ず「人」がいます。しかも、相手は百年、千年も前の時代を生きただけの人です。あなたは「すでにこの世に存在しない相手」から、直接(!!)文章を通して語りかけられているのです。

もちろんあなたはちょっとその文章を眺めただけでは、その言葉を受け取ることはできません。しかし「古語単語」「助動詞」「敬語」この3点を押さえることで、何百年、何千年も昔を生きただけの人の言葉を直接受け取ることが可能になるのです。

脳内タイムスリップ…過去の有名人とご対面…そんなすばらしい時間が「古典の時間」です。

①「古語単語」を学ぶ

学校で買った『古文単語325』の載っている単語は、全て「知っていれば格段に読みやすくなる」単語ばかりです。授業でも小テストを行い、習熟度を確認していきますが、今から各自でも少しずつ暗記を進めていくようにしましょう！

②「助動詞」を学ぶ

「助動詞を制する者が古典を制す」！！

人間の微妙な心理や本音は「助動詞」にあらわれます。そして、大学受験において最も狙われやすい分野がこの「助動詞」なのです。今回は『助動詞の復習プリント』を休校課題として用意しました。授業で用いた『体系古典文法 学習ノート』には、一年時にあなたが頑張った書き込みがあるはず。分からないところは学習ノートを見ながら、もっと詳しいことを知りたい時は『体系古典文法』も確認しながら、丁寧にプリントの問題を解いていきましょう。

「助動詞の活用表」は「接続」も含めて暗記するべし！！

③「敬語」を学ぶ

一年時には基礎的な敬語を学習しました。『古文単語』を勉強すると、知っている敬語、初めて見る敬語が出てくることでしょう。まずはそうした、出会った敬語の“敬語の種類”“訳し方”を暗記していきましょう。(『体系古典文法 学習ノート』の「敬語のページ」は、まだ今取り組むには難しい内容です。今は「敬語にどのようなものがあるか」をひとつひとつ暗記していくようにしましょう。

特に平安文化は「身分社会バリバリ全開！！」

この時期に、基礎基本をしっかりと復習して土台を作っておくとこれからの学習がとても有意義なものになります。自分はどこが苦手なのか…しっかりと考えて、実りある時間にしてください！

倫 理

2年生から始まる初めての教科です。まずは倫理に興味を持ってもらいたいと思います。授業が始まる前にぜひ教科書と図説を少しずつ読み進めてみてください。

なお、PCやスマホで「NHK講座」を検索すると倫理のみならず、多くの教科のテレビ番組やラジオ講座を見ることができますので、参考にしてください。

英 語

① 1日10分、英文を音読しよう

2年生の英Cの教科書を予習する必要はないので、もう一度、1年生の時の英Cの教科書『CROWN』を読み直してください。英文を音読しながら、しっかりと英文の表す意味をつかむことができますか。単語の発音に気を配って、CDで流されるような音読ができるようになれば、読解のスピードだけでなく、リスニング力も養われます。まだ手元にあるのなら、授業プリントの各レッスンにあるVocabulary ScanningおよびReading Practiceのシートを使って瞬時に英語→日本語、日本語→英語というトレーニングを定期的に行いましょう。英語は毎日やるのが大切です。1日10分でもいいので、毎日1レッスン、1セクションずつコツコツ音読、トレーニングを続けてみてください。

② 休校課題を進めよう

休校課題として『SWITCH 2』および『表現のための標準英語構文ノート87』を出していますが、これは本来、週末課題として出してもらった予定の教材でした。1週間に最低1つでも長文を読み、英語に触れる機会をもってほしいのです。休校課題をコツコツ進めていきましょう。余裕があれば、さらに『SWITCH 2』をどんどん読んでいってください。また、今年から『Scramble 英文法・語法』のイディオムの箇所を定期考査で出そうと考えていましたので、こちらも休校課題としてコツコツ進めてください。Scrambleで習う表現を覚えていくと、英語長文の内容がつかみやすくなります。

③ +αの英語学習

◆NHKのラジオ語学番組を活用する

○『基礎英語3』（英語が苦手な人向け。中学校3年生の範囲を復習できる。対話文まで暗唱しよう）

○『ラジオ英会話』（『ハートで感じる英文法』『一億人の英文法』などで有名な大西泰斗先生の番組。ネイティブスピーカーの持っている「キモチ」から英語を見る新鮮な講座）

○『エンジョイ・シンプル・イングリッシュ』（多読多聴に最適）

また『COOL JAPAN～発掘～！ かわいいニッポン』などのNHK番組もおススメです。

◆YouTubeを活用する

○「Animation English」（愛知県の高校教員が配信。大西先生の「イメージ英文法」準拠。「受動文」や「関係詞」など、苦手な文法項目を選んで視聴できる）

（URL:<https://www.youtube.com/channel/UCIRIY1h73FiB6rncSdiC8Qw>）

○「Voice of America」（アメリカや世界のニュースを聴きながら英語を学ぶことができるサイト。語彙や文法、会話表現が学べる動画有）（URL:<https://learningenglish.voanews.com/>）

◆その他の学習コンテンツ（おススメ!!!）

○「Quizlet」（一問一答形式の英単語テストやアクティビティをしながら英単語の知識を確認できるサイト。現在、「40回生」のフォルダを作り、目下『必携英単語LEAP』のコンテンツを作成中。順次、『Scramble』のイディオムに関するコンテンツも作成予定。LEAPは100語単位で範囲指定しているので、少し多いですが、頑張ってやっつけよう）（URL:<https://quizlet.com/subject/40回生/>）

数 学

「2年理系 数学科通信 No.1」を参照のこと

物 理

新しい分野を自分で学習する場合、まずは教科書を読みましょう。内容がわかったら、セミナー物理基礎＋物理の「プロセス」の問題を解いてみて下さい。それができたら「基本例題」、「基本問題」へと進んでいって下さい。問題を解くことで理解が深まると思います。さらに理解を深めるには「フォトサイエンス物理図録」を読むのもよいでしょう。イメージがつかみやすいかもしれません。

また、教科書を読んだだけで内容がつかめない場合は、インターネットでのコンテンツを利用する方法もあります。2年生では、第2章の剛体の分野から始まります。たとえばパソコンで“高校物理 剛体”とか“力のモーメント”をキーワードとして入力すると、動画も含めて多くのコンテンツが出てきます。豊富な図を使ってわかりやすく説明しているサイトや、講師が黒板やホワイトボードを使って説明している動画や、CGを使って現象を説明している動画などがあります。理解を深めることができると思います。

化 学

・生徒用プリントを、教員用プリントをよく見て穴埋め、演習をすること。教科書、資料集の該当ページを見るとなお良い。

・最初の学習内容はほとんど覚えるものなので、しっかり暗記すること。とくに、プリントに語呂合わせが載っているものは特に重要である。なお、語呂合わせを覚える際に、語呂合わせだけを覚える人がいるが、必ずその内容と合わせて覚えること。

・インターネット上の無料コンテンツなどを参考にしてもよい。

生 物

1年生で第3章までは終わっているので2年生は第4章「植生の多様性と分布」から進める予定でした。休校解除が長引く可能性がありますので、基本的に「生物基礎の範囲は自分で学習を進めてください」また、今回のウイルス騒動の影響で「映像授業」サービスを提供する各社が続々と無料提供を始めております。いくつかのサイトを紹介しますので、まだ習っていない授業のない科目の予習に役立ててください。

NHK高校講座 活用方法ガイダンス

https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/spring_break/intro.html

NHK高校講座 生物基礎

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/seibutsukiso/>

画面内の「2学期」を選択し29～33を視聴しておくこと。

29:生態系

30:植生と生態系

31:植生の遷移

32:世界のバイオーム (1) ～気候と生物の適応～

33:世界のバイオーム (2) ～さまざまなバイオーム～

NHK高校講座だけでは内容が不足しているのでオススメ映像授業サイトを紹介します。家庭学習に役立ててください。

高校講座ガイダンス



高校講座 生物基礎



《オススメ映像授業》

※ 学びエイド(無料会員登録が必要) <https://www.manabi-aid.jp/>

内容が「授業」のためNHK高校講座より詳しい。個人情報に気を付けて登録し、見ておくだけでも勉強になる。生物以外にも多くの科目・内容があるため勉強ができる。

・村杉拓夢の日本一わかりやすい生物基礎 第10章 植生と遷移

<https://www.manabi-aid.jp/user/prof/2PI>

・【理系生物】第1章 細胞と分子

<https://www.manabi-aid.jp/lesson/id/4168>

Web玉



※ Web玉 <https://www.webtamajuku.com/seibutu>

会員登録不要で各科目の教科書内容の説明動画が見れる。生物は内容が少し物足りない部分もあるが、面白くまとめてあるので楽しく見れる。You Tubeにつながる。ホームページの制作者も「教科書を使って自分で勉強しろ」と言っているので教科書をつかって復習しましょう。

③ Try it <https://www.try-it.jp/>

家庭教師のトライの映像授業サイト。無料登録をすると各科目の映像授業が視聴可能。1コマ10～20分で単元別になっている。丁寧な説明で内容は易しめ。

④ N予備校 <https://www.nnn.ed.nico/>

小中高の休校要請を受け、全ての教材とオンライン授業を無料開放している。niconicoという動画サイトのアカウント登録が必要だが、こちらも無料で取得できる。予備校の授業のため1コマ90分で、すべて視聴すれば教科書1冊分が学べる。

⑤ アオイゼミ <https://www.zkai-gr.co.jp/>

Z会グループの通信教育。3/30まで無料公開されていたため、休校措置の延長を受けて、今後も無料公開される可能性がある。Z会は難易度が高いのでしっかりと勉強したい人向け。

⑥ スタディサプリ <https://studysapuri.jp>

リクルートが運営する進学支援サイト。14日間の無料体験ができるが無料期間の翌日から利用料金が発生する。

生物だけでなく英語や社会科など、各科目の映像授業がありますが、どの授業が有用で、どの授業が内容に不足があるかは科目の担当者でしかわからないので、参考程度に視聴し、その単元の内容については教科書を用いて学習することをお勧めします。学習の基本は教科書であることをお忘れなく。

URLは載せてありますが、検索をかけた方が早いかもしれません。情報機器を上手に使おう。

※ ホームページ上の青文字のURLはハイパーリンクです。クリックすると該当のページに飛びます。

※ 登録の必要のないサイトのみQRコードを載せてあります。登録は保護者と相談の上行ってください。